

講義名	卒業研究
講義コード	44102
担当教員	森澤 龍也
開講期・曜日・時限	通年 木曜日 4時限
備考	

ゼミ
学部ゼミ・学科ゼミ
学部
経済学部
学科
演習名
森澤龍也ゼミナール(データでみる現代経済)

概要説明
<p>この演習では、経済データや資料などの「証拠」や、これまでの「歴史」的な経緯を踏まえて、「論拠」を大事にしながら、現代経済の諸問題について考えます。受講生のみなさんには自分の選んだ研究テーマに関して「証拠に基づいて議論する」姿勢が求められます。テーマについては、経済に関係していることであれば、どのようなものでも自由です。具体的には、次のような目的で演習を行います。</p> <p>経済問題に関連する記事・ニュースを理解するために必要な基礎知識を習得する。 レポート、口頭報告を通じて自己表現力(文章表現力、プレゼンテーション力)を修得する。 自分の「問題意識」から「仮説」をたて「実証分析」ができることを目指す。</p> <p>【研究演習(2年次後期)】 テキストの輪読、発表表を通して、現代経済の理解のための基礎的な勉強を行います。 受講生の希望を考慮して、PC実習も考えています。</p> <p>【研究演習(3年次)】 前期は個別研究ないし共同研究、後期は卒業論文のテーマ選択・準備作業を念頭においた個人報告を予定しています。 受講生の希望を考慮して、PC実習も考えています。</p> <p>【卒業研究(4年次)】 卒業論文に必要な文献報告、概要報告、論文作成の個人指導を行う予定です。</p>

学位
博士(経済学)【関西学院大学】

教員よりの要望
ゼミの指導に当たって、重視しているのは、「規律と自由の調和」です。一定の規律のもと、自由な発想に基づき、自発的に活動することができれば、ゼミは自ずと美り豊かなものになると考えております。

教員英字氏名
Morisawa Tatsuya

研究室
研究棟 3402研究室

最終学歴
関西学院大学大学院経済学研究科博士課程後期課程

主な研究活動・社会活動・研究業績
2008年、『資産市場と実体経済 日本経済の計量分析』a、千倉書房。 2015年、『レクチャー&エクササイズ金融論』、新世社。

主な卒業論文のタイトル
<p>【8期生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トヨタはなぜ強いのか ・陸上競技はどうすればプロ化できるか ・プロ野球は低迷しているのか ・過労死、過労自殺と長時間労働 ・消費者行動と景気との関係性 ・間接金融から市場型間接金融へ

趣味・特技
多少、収集癖および放浪癖あり

所属
経済学部経済情報学科

所属学会
日本経済学会 日本金融学会 日本財政学会

専門分野
応用計量経済学 金融論 日本経済論

選考方法
基本的には提出書類および当ゼミ個別ガイダンスへの参加状況によって選考します。ゼミ志望者は個別ガイダンス期間中にゼミの説明を受けるため研究室を訪問した上で、前定の提出場所に研究演習申込書と成績表のコピーを提出してください(捺印厳守)。応募者が定員を上回る場合は面接の実施などを考えています。その場合は掲示表によって連絡しますので、掲示物にご注意ください。また、個別ガイダンス期間中での研究室への事前訪問なしにこのゼミを志望された場合、希望がかなわないことがありますので、その点についてもご留意ください。

担当科目
データでみる現代経済 経済情報処理 計量経済分析 経済学特講(証券経済論)

備考

評価方法
出席状況、課題提出、口頭発表による評価。授業日数の3分の1以上欠席するとゼミを放棄したものとみなします。